

平成 26 年度化学物質環境実態調査の進捗状況

平成 26 年 12 月 24 日
環境保健部環境安全課

1. 調査内容

(1) 初期環境調査

環境リスクが懸念される化学物質について、一般環境中で高濃度が予想される地域においてデータを取得することにより、化管法の指定化学物質の指定、その他化学物質による環境リスクに係る施策について検討する際のばく露の可能性について判断するための基礎資料等とすることを目的としている。平成 26 年度は、表 1 に示す物質を調査対象とした。

(2) 詳細環境調査

化審法の優先評価化学物質のリスク評価等を行うため、高濃度が予想される地域を含む一般環境中における全国的なばく露評価について検討するための資料とすることを目的としている。平成 26 年度は、表 2 に示す物質を調査対象とした。

(3) モニタリング調査

化審法の特定化学物質について、一般環境中の残留状況を監視することを目的としている。また、POPs 条約に対応するため、条約対象物質等の一般環境中等における残留状況の経年変化を把握することを目的としている。平成 26 年度は、表 3 に示す物質を調査対象とした。

2. 精度管理

初期環境調査及び詳細環境調査においては、複数の分析機関が同一の化学物質の分析を行うため、分析機関間の差異及びばらつきが生じる恐れがあることから、これらを事前に把握し、対策を行うことを目的として、化学物質環境実態調査精度管理等業務を実施した。平成 26 年度の同業務の概要は以下のとおり。

- (1) 共通の標準物質等(内標準物質及びサロゲートを含む。)を配布。
- (2) 標準物質を調製、各分析機関に配布し、ラウンドロビンテストを実施。

また、モニタリング調査においては単一の分析機関による分析であるが、過年度からの継続性を担保するため、(独)国立環境研究所及び有識者によって分析機関へ立入調査を行い、実施状況が適正であることの確認を行った。

表1 平成26年度初期環境調査対象物質

番号	調査対象物質	調査媒体		
		水質	底質	大気
1	6-アセチル-1,1,2,4,4,7-ヘキサメチルテトラリン	◎		
2	3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキシル=イソシアネート			◎
3	クラリスロマイシン	◎		
4	クロルテトラサイクリン	◎		
5	5-クロロ-2-(2,4-ジクロロフェノキシ)-フェノール (別名:トリクロサン)	○		
6	酢酸 2-メトキシエチル (別名:エチレングリコールモノメチルエーテルアセテート)			◎
7	1,2-ジクロロ-4-ニトロベンゼン	○	○	
8	ジビニルベンゼン類	/	/	/
8-1	<i>m</i> -ジビニルベンゼン			◎
8-2	<i>p</i> -ジビニルベンゼン			◎
9	6,6'-ジ- <i>tert</i> -ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール		◎	
10	<i>N,N</i> -ジメチルアセトアミド			◎
11	2,4-ジメチルアニリン	○	○	
12	スルファメトキサゾール	◎		
13	2,2',4,4'-テトラヒドロキシベンゾフェノン	◎		
14	ブタン-2-オン=オキシム			◎
15	メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート類 (別名:1,3-ジイソシアナト(メチル)ベンゼン類)	/	/	/
15-1	2-メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート			◎
15-2	4-メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート			◎

注:◎は初めて調査するもの、○は過去にも調査しているもの (以下同様)

表2 平成26年度詳細環境調査対象物質

番号	調査対象物質	調査媒体			
		水質	底質	生物	大気
1	アクリル酸	○			
2	アクリル酸 <i>n</i> -ブチル			◎	
3	2-アミノエタノール	○			○
4	エピクロロヒドリン				○
5	グリオキサール				◎
6	グルタルアルデヒド				◎
7	クロロベンゼン	○			○
8	4-クロロ-2-メチルフェノール	○			
9	シクロヘキサン	○			
10	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸（別名：2,4-D 又は 2,4-PA）	○	○		
11	α -(<i>n</i> -ニルフェニル)- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)（別名：ポリ(オキシエチレン)= <i>n</i> -ニルフェニルエーテル）	○			
12	<i>n</i> -ニルフェノール類	○		◎	
12-1	4- <i>n</i> -ニルフェノール(分岐型)	◎		◎	
13	ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジニル)セバケート	◎			
14	4,4'-(プロパン-2,2-ジイル)ジフェノール（別名：ビスフェノール A）	○	○	○	
15	ポリ(オキシエチレン)= <i>o</i> -クチルフェニルエーテル	◎			
16	モルホリン	○			

表3 平成26年度モニタリング調査対象物質

番号	調査対象物質	調査媒体			
		水質	底質	生物	大気
継続的に調査している物質(POPs 条約対象物質等)					
1	総 PCB	○	○	○	○
2	ヘキサクロロベンゼン	○	○	○	○
3	アルドリン			○	○
4	ディルドリン	○		○	○
5	エンドリン	○		○	○
6	DDT 類(6物質)	○	○		
7	ヘプタクロル類(3物質)	○	○		
8	ヘキサクロロシクロヘキサン類(4物質)	○	○	○	○
9	ポリブロモジフェニルエーテル類(臭素数が4から10までのもの)	○	○	○	○
10	ペルフルオロオクタンスルホン酸	○	○	○	○
11	ペルフルオロオクタン酸	○	○	○	○
12	ペンタクロロベンゼン	○	○	○	○
13	エンドスルファン類(2物質)			○	○
14	1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン類(5物質)	○		○	○
その他の物質(化審法第一種特定化学物質)					
15	ポリ塩化ナフタレン類				○